

特集／

最新テクノロジーが 学校教育を面白く変える

スタディポケット株式会社

スタディポケット for STUDENT
スタディポケット for TEACHER

株式会社meleap

HADO

SMBCグループ

クエスト・オブ・ファイナンス
～勇者の武器はお金の知識～

YOU

最新のテクノロジーが学校教育をどう面白く変えてくれるかを教えてください。

ChatGPT

最新のテクノロジーが学校教育を面白く変える方法について、いくつかの具体的な点を挙げます：

1. 仮想現実 (VR) と拡張現実 (AR) の活用：VR や AR を使った学習体験が、生徒たちにとってリアルで没入感のある学びの場を提供します。例えば、歴史の再現、科学の実験シミュレーション、地理や文化の体験などが可能です。これにより、生徒たちは教科書や紙の資料では得られない深い理解と興味を持つことができます。

2. AI と機械学習の活用：AI を利用した個別カスタマイズ学習や教育の自動化が進んでいます。教育プラットフォームが生徒の学習スタイルや進捗を分析し、適切な学習パスを提案することで、生徒たちは自分のペースで学ぶことができます。

3. ゲーミフィケーション：教育ゲームや競争要素を取り入れたアプローチが、生徒の関心を引き、学習のモチベーションを高めます。これにより、学習が楽しくなり、自然な形で知識やスキルを吸収することができます。

4. デジタルコラボレーションとリモート学習：オンラインプラットフォームやリモートツールを使ったグループプロジェクトや国際的な交流が、生徒たちに異なる文化や視点を理解させ、協力とコミュニケーションのスキルを向上させます。

5. データ駆動の教育改善：教育データ分析が進むことで、教育政策や教育プロセスの改善に役立てることができます。教師や教育管理者はデータに基づいた意思決定を行い、教育の効果を最大化するためのアプローチを採用できます。

これらのテクノロジーの導入により、生徒たちはより深く関与し、自分の学びを主体的に進めることができます。教師や教育管理者はより個別化され、創造的でインタラクティブな体験が増えることで、学校教育はより魅力的で効果的なものになるでしょう。

広告掲載に関するお問い合わせ・お申し込みは

【発行元】株式会社 モノリスジャパン 〒163-0918 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス18F
TEL/(03)6279-4761 FAX/(03)6279-4762 Mail/info@monolith-j.com

「私教育新聞web」は株式会社モノリスジャパンの
コーポレートサイトへ移行しました。
本紙バックナンバーはこちらからご覧いただけます。



<https://monolith-j.com/>

教育業界の未来は、ここから始まる。

日本発祥

次世代ARスポーツ

HADO

New Topic

教育活動を目的とした取り組み「HADO EDUCATION」始動。

詳細は特集記事と同封チラシをCHECK

EDU INNOVATION
CONTEST 2022
最優秀賞
受賞

日本累計導入校
100校突破

世界累計導入校
300校突破

無料体験会実施中!



株式会社meleap

〒135-8707 東京都港区台場1丁目7番1号 アクアシティお台場 5F
MAIL: jp.edu@meleap.com



私教育新聞

120

July/August 2024
〔7・8月合併号〕

特集

- 03 最新テクノロジーが
学校教育を面白く変える

私教育最前線

- 08 4月大手模試前年比 97.8%
森上 展安
- 09 ChatGPT4.0の登場と、これからの教育
出口 汪
- 10 教育のバランス：生徒の成長と将来への影響を考える
小林 尚
- 11 私学こそ探究を学びの中心に⑨
「探究で地域課題に取り組む
～地域探究と教育旅行 3.0を通じた探究的な学び～」
森 弘達
- 12 効果的な『発問』の方法
大矢 純

好評連載

- 13 注目! 教育コーチング
教育コーチングを活かした授業
大村 伸介
- 14 映像授業「を」学べ。鉄人の中の鉄人 香川が映える。
生成AIと数学のよい活用とは
香川 亮
- 16 本紙編集主幹
千葉誠一が行く
ダーツの旅 in東京
プロ家庭教師の名門会の役割とは？
名門会
吉田信司社長
- 18 私塾 REAL vol.68
沖縄から全国へロボットで教育改革を!!
株式会社 TAGラボ 代表取締役社長 速水雅史氏

好評連載コラム

- 19 中土井鉄信の辛口トーク!
社会的視点で、教育改革を考えてほしい!
中土井 鉄信
- 19 教育ビジネス最前線
難しい幼児向けのコンテンツ
鈴木 博文

私教育最前線の情報をSHAREして、活用してみませんか？

教育関連情報の収集を、教員や講師一人ひとりに任せていませんか？
ピン!ときた情報や気になる記事は、ぜひ周りのみなさんもSHAREしましょう!
情報共有から始まるコミュニケーションや情報を共有するという文化づくりにも有効です。
ぜひ、教員や講師のみなさんの情報感度を高めるためにご活用ください。



手順はカンタン!

- ①私教育新聞記事に設置されたQRコードを読み取り
- ②記事のURLをメールやメッセージアプリなどでSHARE!
- ③SHAREされた人はバックナンバー購読を登録

たとえばこんな使い方…



特集 / 最新テクノロジーが学校教育を面白く変える

「日本のICT教育は遅れている」と、 もう言わせたくない!

教育現場のICT化は、電子黒板やタブレットの整備だけではありません。
最新のテクノロジーを駆使した教育教材や業務支援システムなど、
学校教育の日常を大きく変える「製品」が次々と誕生しているのです。
そして、その多くが次世代を見据えた新しい「教育の形」を提唱しています。
例えば、創造的でインタラクティブな体験からは、
生徒たちの主体的に学ぼうとする意欲が生まれます。
また、教育資源の選定やカリキュラムの設計、
さらに課題・テストの評価など、教師の業務負担も大きく軽減してくれます。
教育業界に特化した最新テクノロジーの数々は、
生徒にとっても、教師にとっても、大きなメリットをもたらすのです。

今、導入しない理由がありますか？

生成 AI

スタディポケット株式会社

スタディポケット for STUDENT
スタディポケット for TEACHER

AI が教員の働き方改革と
生徒の探究サポートを解決する



AR (拡張現実)

株式会社 meleap

HADO

“次世代スポーツ” が
新しい授業とイベントを切り拓く



ゲーミフィケーション

SMBC グループ

クエスト・オブ・ファイナンス
～勇者の武器はお金の知識～

ゲームを通じて
現実世界の「お金」の知識を身につける

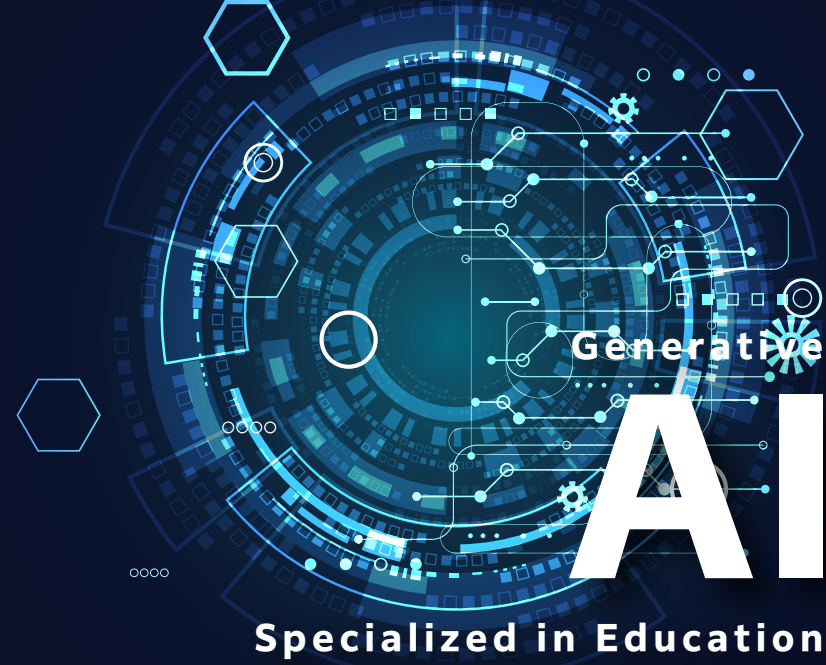


スタディポケット株式会社

スタディポケット for STUDENT

スタディポケット for TEACHER

誰でも直感的に使える 「教育特化型 生成AI」で 教員の働き方改革と 生徒の探究サポートの両面を解決。



ここ1〜2年急速に認知が拡大している「ChatGPT」に代表される生成AIサービス。ニュースで大きく取り上げられた際に、試して利用したことがある方も多くいるのではないのでしょうか。利点も多くある一方で、プライバシーなど安全面の不安の声、効果的な活用方法について模索されている現状といえます。その中で、今春からChatGPTと同様の技術を活用した教育特化の生成AIサービスが新たに誕生しました。それがスタディポケット株式会社による「スタディポケット for TEACHER」「スタディポケット for STUDENT」です。スタディポケットは、文部科学省の「学校DX戦略アドバイザー事業」、そして経済産業省の「働き方改革支援補助金2024」に採択されており、教育現場で安心安全に利用できることを念頭に、また生成AIを始めて利用する人にとって使いやすい設計となっています。今回は生成AIが教育業界にもたらす変化について、代表取締役でありスタディポケットのサービス開発者である鶴田 浩之氏にお話を伺いました。



文部科学省
学校DX戦略アドバイザー事業
サポート事業者(AI生成)



経済産業省
働き方改革支援補助金2024採択

Developer interview

生徒にとっても先生にとっても、 悩みや質問に対する考え方の 補助線となる存在に。

「AIは子どものちょっとした疑問に寄り添う良きパパ・ママのような存在であってほしい」と鶴田氏。「スタディポケットは『雲はなぜ白いの?』『虹ってなんで7色なの?』など、日常で生まれる疑問に対して、直接的に答えを知るのではなく、『雲や虹はどうやってできているか知っている?色の見え方について考えてみよう』と、AIとの対話を通じて学習者が自ら正解にたどり着くためのサポートを行います。AIの技術は、子どもたちの考える力を育むための補助線であることが重要だと思います」という言葉は、まさに今日のAIと教育をとりまく懸念に対するひとつの答えだといえます。さらに鶴田氏は「スタディポケットはあくまで教育への未来の可能性に対する提案であり、インフラを担うものに過ぎず、主役は学校現場や教員です。これから生徒向けの学習支援・教員向けの働き方改革のサポート、それぞれにおいて生成AIがより得意とする部分を磨いて、教育機関をサポートできる存在にしていけたらと思います」と笑顔で語っていました。生成AIの技術はまだまだ進化を続け、2〜3年以内には私たちの社会生活に自然に浸透し、人間と共存していくと考えられます。生成AIは教育の分野でこそ、最も価値を発揮する可能性があるものかもしれません。「答えを直接教えない」という視点から生まれたスタディポケット。教員にとっても生徒にとっても、新しい道具として使いこなすことで、学びの世界に新たな可能性が広がることが期待されます。

What is

生成AI (ChatGPT)

チャット(対話)を通じてまるで自然な人間のようにふるまう、対話型の生成AIサービスです。ChatGPTの「GPT」はGenerative Pre-trained Transformer(文章生成モデル)の頭文字。アメリカのOpenAI社をはじめ、MicrosoftやGoogle、日本でもKDDIやNTTも参入をした「LLM」と呼ばれる大規模言語モデル(Large Language Models)の技術は、インターネット上にあるものやパブリックドメインとなった書籍など大規模なデータを学習し、答えを最適化しています。2022年11月に「ChatGPT」が公開され、2023年3月には「GPT-4」が公開されました。2024年5月に公開された最新モデル「GPT-4o」では、より高速・高精度で、単に文書作成だけでなく画像の読み取りや音声の取り扱い、動画の解析も可能です。

Profile

スタディポケット株式会社 代表取締役 鶴田 浩之
2019年に教育事業を手掛けるため、株式会社LABOT(現:スタディポケット株式会社)設立。スタディポケットのサービス開発者でもある。プライベートでは2児の父。

スタディポケット for STUDENT

生成AIはあくまで“道具”。

「答えを直接教えない」という発想から生まれた「for STUDENT」。

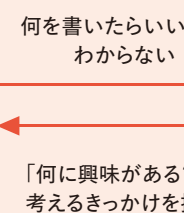
インターネット普及以後、「知識を得る」という過程は簡単になっています。さらに生成AIの登場により、「AIに宿題をやらせてしまう」「AIに読書感想文を執筆してもらう」といった教育上の課題が顕在化し、「子どもたちの考える力が失われてしまうのでは」といった生成AI技術の在り方自体が社会的にも議論されています。しかし、生成AIはあくまで道具であり、「使い方」で価値が変わる技術である側面を忘れてはいけません。「スタディポケット for STUDENT」の最大の特徴は、「問いに対して直接的な答えを教えず、対話を通じて考えるアプローチを促す」こと。先ほどの読書感想文の例でいえば、「主人公のどんなシーンが好きだった?」と返答し、対話を通じて思考を促すアプローチを行います。英作文の問題では特定の英単語からひとつずつ確認し、その後に文法的な組み立て、より良い英語表現をサポートします。AIと対話することにより、解き方に悩む生徒だけでなく、より応用的な課題に挑戦したい生徒にも、一人ひとりの学習進度にあわせ、個別最適化した学びを提供することが可能です。教員の業務負担が増える中、教員のアシスタントとしてAIを活用することで、より重要なテーマに教師が向き合うきっかけとなるサービスと考えられます。

example

英作文での
活用例



生徒A



生徒B

何を書いたらいいかわからない

「何に興味がある?」と考えるきっかけを提供

学習進度に合わせて対話

この文法を使ってみたい

「文法の意味はわかる?」と理解度を確認

製品サイトはこちら! /



スタディポケット for TEACHER

教員が本当にやるべきことを実現するために。

多様な業務を効率化し、工数を削減する「for TEACHER」。

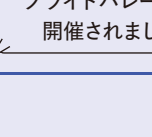
近年、教員の働き方・人手不足・なり手不足も大きな社会問題となっています。生成AIの活用によって、教員が職員室で行う様々な校務作業を日々15分でも省力化し、少しでも生徒と向き合う時間を増やす支援はできないか。「スタディポケット for TEACHER」はそんな発想から誕生したサービスです。その中でも特徴的なのは、従来の多くの生成AIサービスに必要な「プロンプト」と呼ばれる命令文を書かなくても利用できること。生成AIやプロンプトの前提知識がなくても、直感的な操作で、例えば英単語ひとつから英語の問題を作成するなど、生成AIの実践的な活用ができます。「プロンプトがよくわからない」「生成AIに上手に質問できない」という悩みは、教育機関に限らず、民間企業でも共通する課題です。その点、スタディポケットは学校・校務の分野に特化したプロンプトのテンプレートを大量に用意してあります。そのため、「消費税のしくみについての学習指導案をつくりたい」と決まっていれば、その一言で、授業の展開案や確認テスト、指導上の注意点などのたたき台を生成します。スタディポケットはChatGPTと比較して、文部科学省が定める最新の学習指導要領にできる限り沿った応答をするように設計しており、教育分野に特化した活用の精度を高める開発を続けています。さらに、入力された情報は生成AIの機械学習に用いられないことがないようにセキュアな設計を行っているため、安心して導入ができる点も教育特化型ならではの視点だと考えられます。

example

時事問題
にも対応



ニュース



スタディポケット

関連ワードから
必要な教材や
学習指導案を作成

製品サイトはこちら! /



スタディポケット株式会社

〒150-0034 東京都渋谷区代官山町8-7 DAIWA代官山ビル2F
https://studypocket.ai/

お問い合わせはサービスサイトよりご連絡ください。



AR技術を駆使した “次世代スポーツ”が切り拓く、 これからの授業とイベントの可能性

株式会社meleapが開発した「HADO」は、既存のフィジカルスポーツと、AR（拡張現実）技術を組み合わせた「テクノスポーツ」です。プレイヤーはヘッドマウントディスプレイとアームセンサーを装着し、エナジーボール（弾）とシールド（盾）を駆使しながらチームで連携して得点を競います。2016年のサービス開始からこれまでに世界39ヶ国以上で楽しまれており、近年では教育業界においてもさまざまな形で普及し始めている“次世代スポーツ”HADOの可能性について、同社事業部長の濱村 智博さまにお話を伺いました。



ローケーションベース
エンターテインメント事業部
Japan Div. 事業部長
濱村 智博

体育の授業だけじゃない、HADOの活用事例

01 テクノロジーの力で「男女共修」を実現

HADOの最大の特長は「身体能力に関係なく競技を楽しめる」ことにあります。従来のスポーツでは、男女の体格差をはじめ、個々人の運動神経や経験値の差によって、どうしても全員が平等に授業を楽しむことが難しいという課題がありました。しかしHADOは全員が同じようにボールやシールドを発動できるので、技能面ではなく「戦略」によって勝敗が決まります。したがって、授業では全員がスポーツを楽しみながら、作戦を考える“思考力”やチームと話し合う際の“表現力”、相手チームの“分析力”といった部分が評価の対象となるので、「男女共修」の実現への一助になることが期待されているのです。

02 生徒主体のイベントを通した「地域探究」

体育だけでなく、探究学習の一環としてHADOを活用していただいている事例も数多くあります。「地域探究」の一例では、生徒がインストラクターとなり、地域の方々にHADOを体験していただくイベントを企画。生徒が主体となって運営を進めることで、地域の方々と交流を深めながらイベント開催に至るまでのプロセスを経験することができます。また、HADOを普及するための方法やHADOのイベント集客に向けた施策を考えるなど、「マーケティング」の手法を学ぶセミナー形式の授業を実践されている学校も。「テクノスポーツ」を通した多様な探究の可能性は、今後もさらに広がっていくことでしょう。

03 生徒同士や受験生との「コミュニケーションツール」

HADOは未経験者でも楽しめることに加え、勝つためにはチームでの話し合いが必要になるので自然発生的にコミュニケーションが生まれる「レクリエーションに最適」なスポーツでもあります。HADOの体験ができる「HADO ARENA」に修学旅行で訪れたり、球技大会の種目として採用されたり、運動が苦手な生徒でも楽しみながら活躍できるレベルにまで上達するからこそ、大人数での対抗戦として活用できる点もテクノスポーツならではの魅力です。また、オープンキャンパスで実施することで、受験生とのコミュニケーションツールとしても機能するなど、さまざまな場面で親しまれています。



User's Comment

導入への疑念は“体験”で払拭

東京学芸大学 准教授 鈴木 直樹

私は当初、HADOのゲーム構造が非教育的であるのではないかと疑念を持ち、導入には正直なところ否定的でした。しかし実際に体験してみると、人に直接ボールをぶつかけたり、弱いものが排除されて強いものが残ったりするようなゲームではありませんでした。そして、HADOが教材として価値あることは、学校での実践でも明らかです。小・中高の体育・保健体育で実践を繰り返す中で、ゲームを楽しむ子どもの笑顔に出会いました。さらに、ずっと負けていたチームが、作戦を工夫することで圧倒的な大差で勝利した場面も印象的でした。当初の私のようにHADOの教育効果を疑う人がいるならば、ぜひ一度、体験してみてください。体験してみれば、私の主張に納得してもらえると思います。

#Pick up

授業イノベーションコンテスト 「EDU INNOVATION CONTEST 2022」最優秀賞受賞

教員と企業が共同開発した授業実践を全国へ発信するための授業コンテストにおいて、実際にHADOを導入した青海市立第二小学校の島田忠輝先生が最優秀賞を受賞しました。



#Pick up

秦野でHADO体験会

秦野市立本町中学校の2年生有志が地域住民向けの体験会を企画。会場レイアウトの考案から進行・運営に至るまで、すべて生徒の手で行いました。



#Pick up

全生徒が楽しめるクラスマッチ

東京都立豊島高等学校では、“全員が楽しめる球技大会”を目指し1～2年生総勢540名のクラスマッチを開催。HADOを通して運動への苦手意識がなくなったという生徒も！



導入までの03STEP

#01

オンラインで
ご担当者さまに
概要を説明

#02

HADO ARENA
もしくは学校で
HADO体験

#03

機材とアプリを送付後、
1日研修を受けたら
活動スタート！

無料体験会も
実施中！

・HADO ARENAでの無料体験
・学校への出張体験
・資料請求
など、各種お問い合わせはこちら



株式会社meleap
〒135-8707 東京都港区台場1丁目7番1号 アクアシティお台場 5F
MAIL:jp.edu@meleap.com

子どもたちが楽しみながら 「お金」の知識を身につける！ SMBCグループがゲーム型教材を開発！！

SMBCグループは、全国の子どもたちに向けた金融教育活動の一環として、パソコン用ソフト「Minecraft Education」を利用し、「お金に関する出来事」をゲームの中で疑似体験できる金融教育教材『クエスト・オブ・ファイナンス～勇者の武器はお金の知識～』を開発。児童・生徒・学生たちがお金について学ぶ動機づけとなることを期待しつつ、学校の先生方にとっても金融教育の「普及啓発ツール」として手軽に導入できるメリットも併せて訴求していきます。

お金×教育×ゲーム！

それぞれのプロが作った金融教育教材！

講師の派遣やセミナーの開催など、これまでも児童・生徒に向けた「金融教育」に積極的に取り組んできたSMBCグループが、ゲーム形式の金融教育教材「クエスト・オブ・ファイナンス～勇者の武器はお金の知識～」を2024年3月に公開しました。先行き不明確な時代において、次世代を担う子どもたちに少しでも早い段階から「金融」に関する知識を身につけてもらいたいとのSMBCグループの思いが込められています。この教材はパソコン用ソフト「Minecraft Education」を活用。開発には、教育界のノーベル賞「グローバルティーチャー賞」で「世界の優秀な教員10人」に選ばれた正頭英和先生、アジア初・日本初のプロマイクラフターであるタツナミシュウイチ先生、そしてリアル脱出ゲームなどを手掛けた株式会社SCRAPが関わり、金融に関する現実世界の様々なイベントをゲームの中で疑似体験できる教材が完成しました。

※リアル脱出ゲームは株式会社SCRAPの登録商標です。

お金に関する現実世界での出来事をゲームで疑似体験！！

お金を
稼ぐ

【ゲーム内】「素材の買取強化中」「森を更地にしてください」クエスト
【現実世界】アルバイトで働いてお金を稼ぐ
【教訓】手持ちのコインが0でも働き先を見つけて元手を稼ぐことができる

絶対値かるは
存在しない

【ゲーム内】「値上がり間違いないのチューリップ株」クエスト
【現実世界】投資詐欺
【教訓】「絶対に値上がりする」という話を鵜呑みにしてコインを渡すと大損してしまう。この世に「絶対に儲かる」上手い話は存在しない

リスクに
備える

【ゲーム内】素材屋でどろぼう保険に入れる
【現実世界】万に備えて保険に加入
【教訓】どろぼうに誤って接触すると所持コインが全て奪われるが、保険に加入しておけば90％が保証される。備えあれば患いなし

1コマ(50分)で完結！

難しい事前準備もなく授業が可能！

Minecraft Educationを使用できる環境があれば、教材をダウンロードするだけで、追加費用が発生することなくプレイが可能。また学校教育の現状では、金融教育に多くの時間を割くことが難しい状況も考慮し、同教材は1コマ(50分)内で一通りの学びが完結する構成になっています。授業の流れは、「勇者新聞」を使った冒頭説明(10分程度)→ゲームプレイ(30分程度)→「解説の書」を使った振り返り(10分程度)を想定。子どもたちは、ゲーム進行のヒントが散りばめられた「勇者新聞」で計画を練り、ゲームでミッションクリアを目指し、そしてゲーム後には「解説の書」を活用して、ゲーム内で発生したイベントが日常のお金に関する出来事とリンクしていることを先生方からしっかり説明を受けます。ミッションをクリアしても、失敗しても、お金に関心を持つきっかけとなる、学校の先生方にとっても心強い金融教育用教材と言えます。

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社
広報サステナビリティ推進部

クエスト・オブ・ファイナンス～勇者の武器はお金の知識～
https://www.promise-plaza.com/qof/

ダウンロード



ゲームだから興味津々！

生徒は自発的に
「お金の世界」を疑似体験！

ゲームは、100年前の封印から復活した大魔王を、プレイヤーが伝説の剣を引き抜いて倒すというストーリー。プレイヤーは手持ち0コインからスタートし、伝説の剣を引き抜くための条件である「借金がない状態で100コイン」の獲得を目指します。ゲーム内では、金融に関するクエストに次々とチャレンジ。まずは森を更地にしたり、捕まえたスライムを素材屋に売ったりしてコソコソとコインを稼ぎます。そのコインを資産運用で増やすのか、自分のスキルアップに使うのかはプレイヤーの判断次第。子どもたちは自分でお金の使い道を考えながら100コイン獲得を目指します。中には詐欺の被害に遭うクエストも用意されるなど「お金の失敗」を疑似体験するケースも出てきます。ゲームの要素を楽しみながら、お金の「増やし方」「有効な使い方」、さらには「トラブル」までも体験。あくまでもゲームの中なので、今のうちに失敗体験を重ねておくことも必要かもしれません。

授業で先生がやることも明確！！

■冒頭説明(10分程度)

○授業の流れや趣旨、マイクラフトの操作方法を説明
○「勇者新聞」を読み、ゲームの進め方を生徒に考えてもらう

■ゲームコンテンツ(30分程度)

○各人でゲーム開始。問題なく進められているかを机間支援

■振り返り(10分程度)

○「解説の書」を基に、お金に関する知識を振り返り

MinecraftはMicrosoft社の商標です。また、本データはMicrosoft社及びMinecraft開発社のMojang Studiosの承認を得ているものではなく、公式として提供するものではありません。

学校の先生必見!「導入のメリット」は本誌P20をご覧ください!

私教育 最前線

本誌バックナンバー
はコチラから!



4月大手模試 前年比97.8%



もりがみ のぶやす
森上 展安
(株)森上教育研究所 所長

1963年岡山県生まれ。早稲田大学法学部卒業。
東京第一法律事務所勤務を経て都内で学習塾「ぶQ」を経営後、88年に(株)森上教育研究所を設立。中学受験、中高一貫の中等教育を対象とする調査・コンサルティング分野を開拓した。
私塾・私学向けに「中学受験と私学中等教育」を月刊で発行している。
中学受験生の父母対象に「わが子が伸びる親の技」(スキル)研究会」セミナーをほぼ毎週主催。著書に「10歳の選択 中学受験の教育論」、「中学受験入りのすくとお得な学校」(いずれもダイヤモンド社)。

NPO学校支援協議会セミナー 「管理職になったら知っているべき 基礎知識その1 労務問題」

- 日 時：2024年8月27日(火) 14:00～15:30
- 会 場：森上教育研究所セミナールーム
(千代田区九段南3-4-5 フタバ九段ビル3階)
- 講 師：梅津雅美 (前学校法人東京女学院常務理事 法人事務局長)
- 受講料：NPO会員 一人 5,000円／
非会員一人 10,000円
- お問合せ：参加希望の方は
ent@ss-c.org までお問い合わせください。

コロナ明け2年目となる来年入試は小6人口が復調するため堅調と考えられるべきだが、4月大手模試の志願者数は97.8%にとどまりプレーキがかかる可能性が出てきた。

しかしそれでは中学の学ぶ生徒が減っていきかねない。新しい動きが必要だ。

私教育最前線 豊島岡女子の英語資格入試に 30万インプレッション

豊島岡女子が4月末にWEBで公表した英語資格試験利用入試を公表した前後にダイヤモンドオンラインのXでつぶやいてもらったところその反応は凄まじく、たった3日で30万インプレッションを記録した。

これは事件で、中学受験の話題を超えた反応と言える。なぜならこうした入試要項の変更はせいぜい数千あれば大ヒットなのだから、ということもあるしそもそも学年5万人と言われる首都圏中学入試人口を小6から小3まで4学年に拡大したとしても20万人。インプレッションのもの凄いく絶対数に驚かされる。

そのことはとりも直さずそれだけインパクトが大きかったわけだが、中学受験界隈に限って言えばあの難関校に英語資格がそれなりにあれば、算数だけで合格ができることになり、午後入試ではなく午前入試で、しかも難関校で打ち出されたことに話題性があった。

ではこの入試のターゲットはどこにあるか。狭義では英検®上級資格者にメリットがあるものでそこにターゲットがあるのは明らかだが、逆にこのターゲティングによって国語や社会、理科の学力は問われない。ウェイトから言えば国語の学力が問われないことに大きなポイントがある。

それでいて算数の結果は拡大評価されることも大きい。要は<算数はできて国語は不得意>な受験生にとってこの上ないアドバンテージのある入試ということになる。

上記の特徴をもつ受験生の属性はなんだろうか。それは帰国生であり、国際生であり、外国籍の児童だろう。

とはいえ4月大手模試での豊島岡女子の志願者数は前年比で増加していない。そもそもそれは女子難関受験者数が下降しているからで豊島岡女子1校の問題ではないが、受験生の負担を軽くし、あわせて国際的に多様な生徒を受け入れようとするこうした努力はやがて報われるのではないだろうか。

そして何より難関校で入試の問口を広げようとする動きがあることを喜びたい。しかも英語資格利用であって、学校の負担は従来と同じ、という点が素晴らしい。もちろん英語資格入試自体は先行事例が重なり定着し増加してきた経緯があり、これからも活用され続けることだろう。

私教育最前線 「ゆる受験」の取り組み

2月末にNHKから「ゆる受験」という取り組みについて「首都圏情報ネタドリ」という番組に呼んでいただいた。VTRで映し出された受験生の話が確か英語資格利用入試か、英語だけの入試であったか、ともかくそのような入試で中村中学校に合格したケースを取り上げていたと思う。その受験生が通っている町塾の塾長さんが「ゆる受験」を説明してから難関校や上位校は目指さない受験スタイルだと説明されていた。

実際、このコロナ禍を通じて大変多くの受験者数となったのは四谷大塚でいうと偏差値40前後の難度の学校の受験生で、多くは男子は共学校、女子は女子校と共学校で、倍率は平均で1.5倍前後、少し学習習慣をつけ、入試問題に慣れれば合格できるような受験と言ってよいだろうか。

さすがに2月1日午前入試は厳しくとも1日午後入試となればかなり合格しやすくなる。

VTRに出られていた方は亀山卓郎先生と言われ、そのものずばり「ゆる中学受験」という著書も出しておられるのでご興味のある方はご一読をおすすめしたい。

塾の業態は中学受験で終わらせず大学受験まで個別指導をするスタイルで、時としてグループ指導をする、といったまさに個人ベースの柔軟な運営のようだ。

つまり中学受験は一つのゴールはゴールなのだが、そこで終わらせないで個人の学年にそって次のゴールまで導くもので、最終的には大学受験がゴールとなっているようだ。確かにそのようにすれば生徒の習熟度にそった指導がしやすく、中学受験はその時点の達成度に応じた入試を受け、進学した学校のカリキュラムにそいながらより学業を深めていくことができるだろう。どこかのスーパーではないが、文字通りエブリディロープライスだ。

中学受験と言えばやはりついこの前まで難関校、準難関校の受験が主流であったが、この3か年のコロナ禍の中の入試で、前述した偏差値40前後の入試の受験生がほぼ半数を占めるようになり、その入試は先程から申し上げるように1倍強の入試で、大手塾でなくとも十分対応できるものだ。そこで一番の良いことは筆者はやはり「わかったつもり」「わかったはず」という意図的教育観(村井実)ではなく、「〜できるようにする」という成功的教育観(同上)が基調になっていることだと思う。

この数年、中学受験は東京を中心に多くの受験生に恵まれてきたのだが、実は東部の地域の伸びが大きかった。ここでご紹介した「ゆる受験」の亀山先生の塾ばかりでなく、同じような町塾が東部地域に多くあり、恐らくこれらの塾がそうした受験生を育ててきてくれたのではないかと考えている。

学校が中高一貫化するなか、高校受験で15歳の選択がもつ重みは相対的に低下したが、この流れは加速する方向こそあれ、小さくなることはないだろう。

そうであればこの数年のコロナ禍という奇貨によって社会でICT活用が一挙に進んだことでもわかるように、中学受験の裾野の広がりはいわば社会の趨勢と考えられよう。

このような文脈の中に「ゆる受験」を位置付ければ、10～12歳という準備期間をもう少し成長過程としてとらえていく社会の在り方として、これはこれで意義あることなのではないだろうか。

一方で難関受験があり、一方で「ゆる受験」があれば中学受験がより広く社会に受け入れられ、たびたび小説などに取り上げられるようになった悲劇が避けられるばかりでなく、学校教育にとっても気づきの多い方向になるように思う。

私教育最前線 国語の可能性

受験界の古い知人に北澤明英先生という方がいる。この方が「国語指導を長くやられていて、国語の不得意を克服できる方法としてなさっている指導について筆者の塾・学校向けの会報誌に現在連載をさせていただいているところ、2回目の連載を読んだやがて古くからの会員塾「エデュコム」の湯田代表から「素晴らしい」とわが意を得たり、というような感想をいただいた。

その方法はごくごく簡単に言えば、文章を断片的に読むのではなく、いわば全文をゆっくり味わって読めばよい、というものだ。

実は過日、筆者が若いころに経営していた「ぶQ」塾の現在55歳になる、かつての優等生たちが集まる会によんていただいた。

いわゆる御三家に進学した卒業生たちで、当時の四谷大塚のトップクラスのメンバー。彼らの話題の1つが、今でも役立っていて楽しかったのが6年生の夏期講習指導で読んだ文庫数冊を丸ごと読む、という当時の担任の伊藤貢先生(後の啓明舎創立者)の指導だ、ということだった。

あるいは横浜で中学受験PREXという塾を主宰している渋谷隆之さんによれば、偏差値は低くとも国語を鍛えて何名も慶應湘南藤沢など上位校へ合格させている、とのお話があった。

冒頭に英語資格入試に触れたが、国語1科入試も午後入試を中心に採用が増えていて、やはり楽しいと思える勉強をして合格進学できる可能性が広がっていることが嬉しい。

こうした様々な事例から「多様性」という精神が具現され始めているように思う。そして、この多様性の理解と対応こそが中学受験のさらなる豊かさをもたらすものだと思う。

私教育 最前線

本誌バックナンバー
はコチラから!

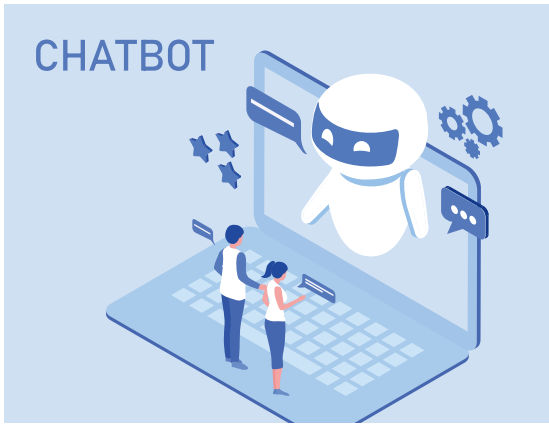


ChatGPT4.0の登場と、 これからの教育



でても のうし
水王 倉
株式会社水王倉 代表取締役

関西学院大学大学院博士課程単位取得、代々木ゼミナール、東進ハイスクールの講師を歴任し、「国語の文章を論理的に読解する手法」を授業に取り入れ、一躍カリスマ講師としての人気を博する。その後、1993年には「総合予備校S.P.S」を、2000年には教材開発・出版を目的とした「水王倉」を設立する。2003年に発行した「論理エンタジン」は、国語を感覚的に解くのではなく、筋道を追って論理的に解くことの重要性を説き、全国公立私学250校以上が採用するなど、大ヒットを記録する。広島女学院大学客員教授、基礎力財団評議員、著書「はじめての論理国語(水王倉)」「出口先生の頭がよくなる漢字(水王倉)」「知っているようで知らない夏目漱石(講談社)」など著書多数。



近年、教育の現場ではAI(人工知能)の活用が進んでいます。その中でも特に注目を集めているのが、OpenAIが開発したChatGPT 4.0です。この記事では、ChatGPT 4.0の特徴とその教育への影響、さらに未来の展望について考察します。

私教育最前線 ChatGPT 4.0の特徴

ChatGPT 4.0は、自然言語処理の分野で革新をもたらすAIモデルです。以下のような特徴があります。

○**高度な自然言語処理能力**
以前のバージョンに比べて、より自然で流暢な会話が可能です。文脈を理解し、適切な応答を生成する能力が向上しています。

○**多言語対応**
日本語を含む多くの言語で高い精度を実現しています。これにより、グローバルな教育環境でも活用が期待できます。

○**柔軟性と適応力**
多様な教育シナリオに対応できるよう設計されており、生徒の学習進度や理解度に応じた個別指導が可能です。

○**自動通訳機能**
リアルタイムで多言語間の通訳が可能となり、異なる言語を話す生徒同士のコミュニケーションをサポートします。

私教育最前線 ChatGPT 4.0の 教育への応用

ChatGPT 4.0は、教育現場において様々な形で活用されています。以下にその具体例を挙げます。

1. **個別指導の強化**
ChatGPT 4.0は、生徒一人ひとりに合わせた個別指導を実現します。例えば、特定の課題に対する質問に迅速に答えたり、理解度に応じた追加の説明を提供したりすることで、生徒の理解を深めることができます。これにより、教師の負担が軽減され、より多くの生徒に質の高い教育を提供することが可能となります。

2. **教材作成の支援**
教師はChatGPT 4.0を活用して、効率的に教材を作成することができます。例えば、授業のプレゼンテーション資料や問題集の作成を支援することで、教師の準備時間を短縮し、授業の質を向上させることができます。

3. **リアルタイムの学習支援**
授業中に生徒からの質問にリアルタイムで応答することで、即時のフィードバックが可能です。これにより、生徒は疑問をその場で解消し、学習の流れを中断することなく進めることができます。

私教育最前線 実際の活用事例

いくつかの学校や塾では、既にChatGPT 4.0を導入して成功を取っています。例えば、ある中学校では、生徒が宿題でつまづいた際にChatGPT 4.0が即座にサポートするシステムを導入しました。その結果、生徒の理解度が向上し、宿題の提出率も上がったとの報告があります。

また、ある塾では、ChatGPT 4.0を活用して模擬試験の解説を行っています。生徒は自分の解答に対するフィードバックを即座に受け取ることができ、理解を深めるための追加の学習素材も提供されます。これにより、生徒は効率的に学習を進めることができ、試験対策の効果が大幅に向上しました。

私教育最前線 自動通訳機能による 英語教育への影響

ChatGPT 4.0の自動通訳機能は、英語教育にも大きな影響を与えます。具体的には以下の点で効果が期待されます。

1. **リアルタイムでの双方向コミュニケーション**
自動通訳機能により、生徒同士や教師とのリアルタイムのコミュニケーションがスムーズになります。例えば、英語を母国語としない生徒でも、英語を流暢に話す教師や生徒と容易に対話できるようになります。これにより、英語学習の障壁が低くなり、実践的な英語力の向上が期待できます。

2. **学習素材の多言語化**
教材や学習資料を多言語で提供することが容易になります。英語の教材を自動的に翻訳し、日本語と併用することで、生徒の理解を深めることができます。また、逆に日本語の教材を英語に翻訳することで、英語を学ぶ生徒にとっても有用なリソースとなります。

3. **異文化理解の促進**
自動通訳機能を活用することで、異なる文化背景を持つ生徒同士が容易にコミュニケーションを取ることができ、異文化理解が進むでしょう。英語を通じて他の文化に触れる機会が増えることで、生徒の国際的な視野が広がります。

私教育最前線 未来の展望

ChatGPT 4.0の登場により、教育の未来は大きく変わる可能性があります。AIの活用が進むことで、教師はより個別化された指導を行うことができ、生徒一人ひとりのニーズに応じた教育を提供することが可能になります。また、教師の負担が軽減されることで、より創造的で効果的な教育方法の開発に時間を割くことができるようになるでしょう。

さらに、ChatGPT 4.0の進化版とされるChatGPT 4oは、さらなる機能向上が期待されています。例えば、より高度な問題解決能力や、感情認識を活用した対話の質の向上などが挙げられます。これにより、教育の質は一層向上し、生徒の学習意欲を引き出すことが可能となるでしょう。

結 論

ChatGPT 4.0は、教育の現場において革命的なツールとなり得ます。個別指導の強化、教材作成の支援、リアルタイムの学習支援など、その活用範囲は広がり続けています。教育関係者として、AI技術を積極的に取り入れ、これからの教育の在り方を共に考えていくことが求められます。

ChatGPT 4.0がもたらす可能性を最大限に活用し、未来の教育をより良いものにしていきましょう。

この連載記事が、教育関係者の皆様にとって有益な情報源となり、今後の教育活動に役立てていただければ幸いです。ご意見やご感想をお待ちしております。

出口式論理アカデミーHPは
こちらから▶



連絡先 052-931-0617

私教育 最前線

本誌バックナンバー
はコチラから!



教育のバランス: 生徒の成長と将来への 影響を考える



こばやし しょう
小林 尚

株式会社キャストダイス(CASTDICE Inc.) 代表取締役
個別指導塾CASTDICE 塾長

埼玉県出身。私立開成高等学校、東京大学法学部第1類卒業。大学在学中は大手予備校に勤務し、東大・医学部をはじめ多数の難関大合格者を輩出する。また、新規校舎立ち上げに参画し、各種経営指標で全国1位を連続で獲得した。卒業後は経営コンサルティング会社の戦略部門を経て株式会社キャストダイスを設立。新規事業開発、人材・組織変革を専門に3度のプロジェクト表彰を受賞する他、人材関連企業を経営する等、活躍のフィールドは多岐にわたる。近年ではYouTuberとして、受験・キャリアに関する動画を配信中。開成高校井膳部・コンサルティングで培ったロジカルな指導力を武器に、大学や教育機関での講義・講演・セミナーを実施している。『開成流ロジカル勉強法』(クロスメディア・パブリッシング刊)



近年の教育界では、生徒の個々のニーズや能力に合わせた教育が重視され、それに伴い塾も多様化しています。その一方で、生徒を怒らない、極端に優しい塾や指導法も見られるようになりました。

そこで今回は、過度な甘やかしや厳しさの欠如は、将来的にどのような影響を与える可能性があるか考えてみたいと思います。

私教育最前線

家庭の教育価値観と
学習環境への影響

生徒の機嫌を損ねることのないよう、過度に優しく甘やかすような背景には、ご家庭の考えも影響していることがあります。実際に、保護者からの要望で叱らないように指導するケースも増えており、「怒れるとやる気がなくなる」という保護者の懸念から、一部の塾ではそういった要望に応えるように努めています。ただし、これは高校生など一定の自己管理能力がある生徒には適用できるかもしれませんが、小学生や中学生には必ずしも適切ではありません。なぜなら、小中学生はまだ自分の学習ペースを理解しておらず、発達段階にあるため、より総合的なサポートが必要だからです。

例えば難関大学に合格するためには、単なる優しい褒め言葉だけでなく、適切な指導、厳しい基準、効果的な学習戦略などが必要です。褒めることは、生徒の自己肯定感や学習意欲を高める一助となりますが、それだけでは大学入試や試験対策に必要な知識やスキルの習得には不十分です。「怒らない教育」を受けて合格したという事例も多いかと思いますが、重要なのは怒るか怒らないか、叱るか叱らないかといったことではなく、本質的な生徒自身の努力や学習姿勢、質の高い指導やサポートでしょう。大学入試においては、適切な教育や学習環境がバランスよく提供されることが重要です。

一方で一部のご家庭や生徒は、叱らずに優しく対応されることだけで満足し、成績が上がりなくとも問題ないと考えるかもしれません。これは、教育や学習への価値観が個々の環境や背景によって異なるためです。そのような家庭では、生徒が心地良く過ごせることを最優先し、成績や競争に対するストレスを軽減することを重視する傾向があります。

また、講師や塾の中にも、叱ることを忌避して、過度に優しい方法・コミュニケーションで学習を進めるケースが見られます。これは、生徒や保護者からのクレームや不満を避けるため、あるいは塾の評判や生徒の定着率を高めるために行われていることもあるのです。

私教育最前線

大学の評価基準と
学生の学習への影響

恐ろしいことは、同じようなことが学校でも起こっている可能性があることです。例えば一部の大学では、学生の満足度や評価を向上させるために、定期試験の難易度を下げ、成績の基準を緩和することがあります。極端な場合だと、学生に単位を与えるために事前に試験問題を公開したり、試験時間に教科書を持ち込ませて右から左に書き写せば済んでしまうような試験を実施したりしていることもあります。これは、学生の退学率や評判ばかりを追いかけた結果、本来の姿を失った大学の成れの果てといっても過言ではないでしょう。とはいえ、こういった試験の難しさや大学の「サービス

の姿勢」は、評判や人気に直結し、今後の入学者数に影響を及ぼす可能性があるため、大学側としても経営を維持するためになんとか対応しようとした結果なのでしょう。

しかし、このようなアプローチが学生の学習や将来のキャリアに悪影響を与える可能性があることは明かです。適切な教育水準や評価基準が維持されない場合、学生が必要なスキルや知識を身に付けることが困難になり、実際に社会に出てからの活躍に支障をきたすことがあります。

実際、最近の若い方は「(親を含め)怒られた経験が全くない」という方が少なくありません。もちろん周囲の大人たちに優しく愛されて生きてきた証でしょうから、それは素晴らしいことかもしれません。しかし、いざ社会に出ればどんなに優秀な人でも失敗はするものです。そのときに上司や周囲から指摘されたり、注意されたりするだけで気持ちが萎えてしまい、会社に来られなくなってしまう人もいます。このような人に育てることが、日本社会が本当に望んでいる教育なのでしょうか。

もっと恐ろしいのは、周囲が何も指摘してくれなくなることです。昨今ではハラスメントなどの問題が横行していることから、会社で部下を指導する立場にある人たちが自身が、指導そのものに恐怖心を抱いています。「もしハラスメントと言われたらどうしよう」「そもそも何も指摘・指導せずにやり過ごしてしまおう」そう考える大人は増え続けています。社会全体が怒ること・怒られることを避けた結果、誰もスキルアップできない時代が来てしまうのかもしれません。

私教育最前線

厳しさとバランスの重要性

厳しい言葉をかけることは、生徒にとって時に辛い経験であるかもしれませんが、それが彼らの成長や学びにつながる場合もあります。厳しさは、生徒が自分の限界を超え、新しいことにチャレンジする手段にもなるでしょう。また、現実世界では困難な状況に直面することもあるため、それに対処する力を身に付けることも大事です。

ただし、厳しさというのはバランスが大切です。あまりにも厳しい態度や言葉は生徒の自信を傷つけ、モチベーションを損なってしまうことがあります。ですから、注意をしたり叱ったりする際には、具体的なアドバイスや肯定的な声かけ、改善点を提案することが重要です。私自身も生徒が失敗から学び、成長できるようにサポートしたいものです。

また、「表現方法」にも注目したいところです。生徒に対して指摘・指導を行う際に、どのような言葉を選ぶのか。感情表現(語調や表情に至るまで)はどうするのか。生徒を萎縮させない場面や状況の作り方。こういったことも重要になることは間違いありません。実際、社会人として管理職になる際に「褒めるときはみんなの前で。指導するときは個別に」などという話を聞いたことがある方もいらっしゃるかもしれません。これはあくまで一例ですが、そういった状況判断も、相手が社会人未満である子どもたちであるからこそ、一層の配慮が欠かせません。

最終的には、教育者としての責任とバランス感覚を持ちながら、生徒の利益を最優先に考えることが肝心です。保護者のクレームに対処する際には、自身の教育理念や指導方針を説明し、生徒の成長に向けた取り組みを積極的に伝えることで、信頼を深めることができるのではないのでしょうか。

確かに、現代の子どもたちは昔よりも叱られることが少ないかもしれません。家庭や学校の教育方針が変化し、より肯定的な声かけや多様性が重視されるようになったことがその一因です。また、社会の変化により、子どもたちはより快適な環境で育つことが多くなっています。しかし、叱られることで失敗や誤りから学ぶ機会を得ることもとても大切です。教育者や保護者は、子どもたちに厳しく接することを恐れず、健全な成長と発達に必要な指導を行うことが求められます。

私教育 最前線

本誌バックナンバー
はコチラから!



私学こそ探究を学びの中心に⑨ 「探究で地域課題に取り組む ～地域探究と教育旅行3.0を通じた 探究的な学び～」



もり ひろたつ
森 弘達

学校法人大妻学院大妻中学高等学校進路指導部長・探究科主任
国立大学法人東京学芸大学大学院教育学研究科(教職大学院)
学校法人電子学園UI情報経営イノベーション専門職大学客員教授
特定非営利活動法人ロジネーション・ジャパン副理事長
国際バカロレアディプロマプログラム(IBDP)アドミニストレーター
シェビール室内含奏団アドバイザー

学校法人昭和薬科大学附属高等学校・中学校教諭・進路指導部主任、2会映像コース講師、学校法人武蔵野大学附属千代田高等学院副校長、学校法人大妻学院大妻中学高等学校生群等を歴任し、学校改革・教育改革を推進。沖縄県沖縄次世代委員会委員(知事参画)、浦添市でたに市民大学運営委員会委員・講師(市長参画)、島分守市介総務部副部長(市長参画)として地方行政にも参画。著書に『バースコア!共通テスト攻略現代社会』(古今)、探究教材『FUTURE』volumes.1・2・3(SRJ)、『特化型小論文チャレンジノート』(第一学習社)がある。

■地域探究に関する参考文献・推薦図書

- ・文部科学省「高等学校学習指導要領【総合的な探究の時間編】」
- ・森弘達編著『わたしたちの「沖縄問題」』(ボーダー・インク)
- ・森弘達『公民科における先進的な探究の取り組みとさらなる授業・教材開発』『公民最新資料』特集11号(第一学習社)



PDF資料はこちら▶

■地域探究に関する推薦教材

- ・森弘達監修・執筆『SAGA探究ワークシート』(ホテル龍登園)

■教育旅行を通じた探究学習

- ・TOKYO EDUCATION LAB



- ・ホテル龍登園



日本は、高齢化と人口減少の中で地方創生が大きな課題となっています。私は、地域で未来共創人材を育てることが地方創生の鍵であり、探究で地域課題に取り組むことがその機会となると考え、実践してきました。今回は、探究で地域課題に取り組む意義、地域探究の先進的な取り組み、教育旅行を通じた探究的な学びである「教育旅行3.0」の事例としての「SAGA探究」について述べます。

私教育最前線

探究で地域課題に取り組む意義

総合的な探究の時間の探究課題の一つとして、学習指導要領において、地域や学校の特色に応じた課題すなわち地域課題が示されています。地域課題とは、「町づくり、伝統文化、地域経済、防災、都市計画、観光など、各地域や各学校に固有な諸課題のこと」です。これらの特色に応じた課題は、「よりよい郷土の創造に関わって生じる地域ならではの課題」であり、生徒が地域における自己の在り方生き方との関わりで考え、よりよい解決に向けて地域社会で行動していくこと」が望まれています。また、これらの課題についても「正解や答えが一つに定まっているものではなく、既存の各教科・科目等の枠組みでは必ずしも適切に扱うことができない」とされています。さらに、生徒にとっては、「自分自身の取り組みが地域や社会を変え、社会に参画・貢献していることを実感できる課題」でもあります。こうした課題を「総合的な探究の時間の探究課題として取り上げ、その解決を通して具体的な資質・能力を育成していくことには大きな意義」があります。

私教育最前線

地域探究の先進的な取り組み
「沖縄探究」

25年以上前、高等学校で総合的な学習の時間が実施される前から昭和薬科大学附属高等学校で探究を先進的に実践しました。内容は、沖縄問題という地域課題について、生徒一人ひとりが自ら問いを立て、文献や資料を調べ、フィールドワークを行い、4,000字の論文にまとめるというものです。このような教育活動の中から、世界・日本、沖縄の各分野の第一線で活躍する人材が育ったことは最高の喜びであり、教えたたちは沖縄だけでなく日本の宝です。四半世紀前から実践してきた探究が2022年度から全国の高等学校でようやく実施されました。これまでの経験から、探究によって、人材育成が推進され、社会が良くなることを確信しています。

この学習の実践は、森弘達編著『わたしたちの「沖縄問題」』(ボーダー・インク)に収録されています。生徒たちが取り組んだ探究のテーマ例は下記の通りです。

「安保条約と在日米軍の存在意義」「米軍の犯罪と人権」「嘉手納の騒音問題」「沖縄の基地経済」「海上ヘリポート建設から考える平和の創り方」「普天間基地返還と跡地利用について」「物価・地価から見る沖縄と本土との格差」「沖縄の観光について」「沖縄の漁業」「サンゴの海と『赤土汚染』公害」「シュゴンの保護と地域振興」「沖縄県の高齢者福祉問題」「僻地医療とマルチメディア」「新石垣空港建設問題」など

私教育最前線

「教育旅行3.0」を通じた
探究的な学び

予測困難な時代を生き抜き、社会をよりよくしていくことや人間の幸せのためには社会での交流や経験が必要です。子どもたちは、家庭や学校での生活が中心であり、住んでいる地域社会との関係性が希薄化して、かつてのように地域社会で交流や経験を重ねることが難しくなっています。このような中で教育旅行が見直され、教育旅行を通じた探究的な学びが注目されています。教育旅行は、かつての集団宿泊的行動・観光特化型・参加者同一行程という「教育旅行1.0」から、民泊などを活用した分散宿泊的行動・体験特化型・クラス別行程という「教育旅行2.0」を経て、PBL(課題解決学習)やアクティブラーニングの手法を活用した地域探究

に取り組む探究的学びを旅前学習・旅中学習・旅後学習に一貫して行う「教育旅行3.0」へ進化しています。

「教育旅行3.0」では、社会での経験や交流を通して、子どもたちの可能性を引き出し、思考力・判断力・表現力・主体性などを身につけるために、次の5つを大切にしています。

- (1) **社会とのつながり**
人、社会、自然との関わりにおいて、社会や自然の一員として、自己の在り方や生き方を考えます。
- (2) **旅前・旅中・旅後学習**
教育旅行を中心として、事前学習(旅前)・教育旅行(旅中)・事後学習(旅後)という一貫した探究学習を行い、課題設定、情報収集、整理分析、まとめ・表現という学習活動を発展的に繰り返します。
- (3) **地域共創**
地域でのフィールドワークやインタビュー、フィードバックなどを通して、地域課題の解決策を考え、新たな価値を創造します。
- (4) **PBL (Problem-Based Learning)**
課題解決学習の方法を活用して、学習を繰り返していく中で探究をより深めます。
- (5) **アクティブラーニング**
主体的・対話的で深い学びの視点で学習を深め、広げていきます。

私教育最前線

佐賀を拠点に
九州の課題を解決する

佐賀県は、産官学が連携して、佐賀を拠点に九州の課題を解決する地域探究に取り組む「教育旅行3.0」を推進しています。「教育旅行3.0」の先進地域として、小学校、中学校、高等学校の教育旅行を通じた探究学習の産官学によるサポート体制、地域課題解決プログラム、ワークシートやティーチャーズマニュアルなどの探究教材、探究学習の場である探究スポットが整備されています。産官学連携、地域課題解決プログラム、探究教材、探究スポットについては下記の通りです。

(1) 産官学連携

佐賀県、佐賀市、佐賀大学、サガテレビ、佐賀新聞、ホテル龍登園などの佐賀のステークホルダーが探究学習をサポートしています。

(2) SAGA地域課題解決プログラム例

■商店街活性化探究コース、■歴史探究コース、■観光魅力度探究コース

(3) SAGA探究ワークシートのテーマと問いの例

(森弘達監修・執筆「SAGA探究ワークシート」(ホテル龍登園)より)

①「SAGAについて知ろう! 我ら佐賀SDGs探検隊～佐賀に隠れているSDGsを見つけ出そう!～」

Q1. 佐賀について調べたことを書いてみよう(歴史、地理、気候、人口、交通、産業、観光地・観光施設、佐賀出身の有名人、佐賀の強み(推し)、佐賀の弱み)。
Q2. 佐賀にあるSDGsに関わる現在と未来の活動について考え、グループで話し合ってみよう。

Q3. 佐賀×SDGs! 新たな活動を考えて発表しよう。

②「SAGAの新たなグルメを考えよう! ～佐賀の食材を使った丼物をつくろう～」

Q1. 佐賀の特産品(食材)を調べてみよう。
Q2. 使用したい食材を選んで、丼物(飯・麺など)を考えよう。
Q3. イラストにしてみよう。
Q4. この丼のキャッチコピーを考えて発表しよう。

③「SAGAの新たなイベントを考えよう! ～新たなお祭り、コンサート、スポーツ大会等を考えよう～」

Q1. 自分が好きなイベントをピックアップしてみよう(なぜ参加するのか? その魅力は?)。

Q2. 佐賀で行われているイベントについて調べてみよう。
Q3. 佐賀で新たなイベントを行うなら、どのようなイベントが良いか考えてみよう。

Q4. 新たな佐賀のイベントをPRしよう。

④「SAGAの魅力度ランキンアップに向けて提案しよう」

Q1. 佐賀県の都道府県魅力度ランキングの順位の理由を考えよう。

Q2. 佐賀のアピールポイントを3つ考えてみよう。

Q3. ポスター作成のキャッチコピーやイラスト、色使いなどを考えてみよう。

Q4. 佐賀の宣伝ポスターを作ろう。

(4) 佐賀の探究スポット

①佐賀県庁CLASS、②佐賀大学、③中心商店街中央マーケット、

④佐賀県立佐賀城本丸歴史館、⑤佐賀バレーミュージアム、

⑥味の素九州工場、吉野ヶ里歴史公園

小林尚氏の連載は今号で最終回となります。
長きに亘り、ご愛読ありがとうございました。

私教育
最前線

本誌バックナンバー
はコチラから!





先月まで10回にわたって授業学の根幹である『学習する空間づくり』の基礎をお伝えしてきました。今回からは、その理想的な教室環境でさらに授業効果を高めるため、児童生徒の主体性を引き出したり、全員が当事者意識をもって授業に参加できるようにするための、いくつかの手段をお伝えします。

最近は「できるだけ教えない授業」に向かってはいますが、教えることがゼロになるわけではありません。教師の基本スキルとして、全員が当事者意識をもって教師の話を聞いたり例題を考えたりできることは、この先も相変わらず重要です。当事者意識をもたせるためにペアワークやグループワークを活用する場面も多くなってきましたが、それらの問題点は時間がかかることです。そのため、1回の授業でそう多くはそれらの場面を作れません。今回は児童生徒に問いかけるだけでなく、常に全員が考えるような『発問』の方法について掘り下げていきます。



おおや じゅん
大矢 純
授業学研究 所 長

株式会社授業学研究 所代表取締役。1966年岐阜県生まれ、東京都育ち。数学の授業や教員育成などの経験をもとに、生徒のやる気を引き出すノウハウを体系化した授業学を提唱。2009年に授業学研究 所を設立し、未来の日本を担う子どもたちのために、授業学の確立と普及を行っている。全国の教育委員会、日本私学教育研究 所・東京・神奈川・兵庫などの私立中高協会や連合会をはじめ、各地の学校で研修や講演、授業改善・合格実績向上・人事考課コンサルティングなどを行うなど、活躍の幅を広げている。超党派の国会議員と民間有識者で構成される教育立憲推進協議会のメンバーとしても活動している。

私教育最前線 発問は 何のためにするのか

発問は何のためにするのでしょうか？
普段何気なく行っている「問いかけ」ですが、それは授業学で言う『発問』から考えればもったいない場面に多く出くわします。『発問』にはさまざまな意味を込めることができ、それによってさまざまな効果が見込めます。しかし、その意味合いと効果をその時々でしっかり考えて行っているケースはなかなか少ないものです。授業後に「その発問の意図は何ですか？」と尋ねると、「特に考えていなかった」「誰かに考えさせたかったから」という返答が多いのです。

クラスの状況を把握するための発問や児童生徒個々の状況を把握するための発問に偏っていませんか？座席順に答えさせてばかりいませんか？クラスの全員が思い出したり考えたり悩んだり、そのような状況を意図して作っていますか？

真の発問の効果はここにあるのです。これを有効活用するだけで、時間を必要とするペアワークやグループワークを多用せずとも、当事者意識をもって参加させることができるのです。

私教育最前線 発問のレベル

さて、発問について少し掘り下げましょう。発問のレベルは次の5段階に分けられます。

- 1 聞いているかを確認する
- 2 理解できたかを確認する
- 3 覚えているかを確認する
- 4 身についているかを確認する
- 5 深く考えているかを確認する

1は話を聞いていない児童生徒を見つけたときについてやってしまうことですが、よく考えてみればそのような児童生徒が生まれたことは教師の力不足です。これは、あてるのではなく注意すべき場面です。2はその説明で良かったのかを確認したいという教師の都合から生じたものです。それをするのが悪いわけではありませんが、児童生徒のためのものではありません。

3になって初めて児童生徒が思い出すということで頭を動かします。4は思い出すとは異なり、習得したことが使えるかを試します。さらに、5は習得したことを掘り下げたり掘げたりして、自分なりの考えや結論を導き出します。

このように段階を分ければ、3～5は児童生徒のための発問と言えます。

この発問の段階を考え、適材適所の発問を行うことが大切です。それにより、教師の都合での発問を減らし、児童生徒の脳を動かし深く考えさせる発問を効果的に行うことができるのです。

私教育最前線 発問と指名の順番

皆さんは発問をする時、どのようにしていますか？
先に答える児童生徒を指しますか？それとも先に問いかけをして、あとで答える児童生徒を指しますか？
大した違いがないと思うかもしれませんが、これには大きな違いがあるので。例えば、「大矢君、今日の朝ご飯何食べてきた？」と聞いたら、「朝何食べたかな？」と考えるのは大矢君だけです。つまり、その発問の効果は大矢君一人にしか発揮できないということです。

「朝ごはん何食べてきたかな？」とみんなに問いかけてから「大矢くんは？」とすると、一瞬クラス全員が考えることになります。ここに教師の適切な立ち居振る舞いを加えると、その効果はさらに大きくなります。次のような流れです。

- 1 みんなが考えられるような前提を共有する
- 2 全体に向かって発問をする
この時の体の使い方や目線の使い方、表情の使い方が大切
- 3 児童生徒は発問の内容を理解し、答えを考える
このときちゃんと全員が考えるように仕向ける、
また全員が考えられる時間をとることが大切
- 4 誰が当たるか直前までわからないようにしつつ、指名

教師の体の向きや目線で誰に当たるのかが分かりやすければ、真剣に考えない児童生徒が発生します。また、自分が当たるかもしれないという緊張感、児童生徒にとってプラスに働きます。

このように指名と発問の順番が違うだけでも、かなり発問の効果が変わってくるのです。

私教育最前線 回答を共有する効果

児童生徒がせっかく答えているのに教師がそれを丁寧に受け取っていないケースも多く見かけます。発問はキャッチボールです。教師がボールを投げ、児童生徒がボールを投げ返してくる。そのボールをきちんと教師が受け取って一連の動作が完結するはず。きちんとボールを受け取らずに板書を始めてしまったり、教科書を見てしまったりすることで、児童生徒が発問に向き合う気持ちは削がれていきます。これはとてももったいないことです。

さて、答えを受け取って、そこからさらにこの一連の発問を有効にするにはどうしたら良いでしょう？

受け取った答えを復唱してみる。これだけでもクラス全員で認知することが可能になります。また「同じ答えだった人」と挙手させたり、他の答えをいくつか言って挙手させたりするのも効果的です。クラス全員が考えても答えるのがたった一人だった場合、答えた児童生徒以外の人たちの気持ちにどれだけ配慮するか、「考えたことは無駄じゃなかった」と思わせるか、それによって発問の効果は大きく変わってきます。

このように、発問の活用次第で児童生徒の主体性を引き出し、授業効果を何倍にも高めることが可能なのです。

注目！教育コーチング

教育コーチングを活かした授業



おおむら しんすけ
大村 伸介 (株)成基総研
コーチング部 部長
集団指導塾を経て、2004年株式会社成基入社。
教室長、エリアマネージャー、本部長補佐、副本部長を歴任。
現在は、教育コーチングナビ(ママコーチングセミナーの
トップ講師として教職員研修、保護者講演会等で全国を飛び回る。
日本青少年育成協会認定マスター教育コーチ・S級認定トレーナー、主席研究員

本誌バックナンバーは
コチラから!



前号では島根県にあります益田東高校での教職員全体研修についてお話をしました。これをキックオフとしまして、1学期の間、それぞれの先生の授業において、教育コーチングを授業に活かす取り組みをしていただき、その上で、10月に開催されます島根県の私学が集まるので研究発表にて公開授業を担当される先生方が決定しました。その授業を実際に見学させていただき、詳細なフィードバックを行うため、9月に再訪させていただきます。

数学における取り組み

1時限目は数学の砂川先生。砂川先生、実は益田東高校の卒業生なんだそうです。母校の教育の更なる進化・発展を志に日々指導されておられるわけですが、砂川先生に限らず、母校に戻って来られる先生が多いそうです。それは、温かく迎え入れている坂田校長や齋藤教頭はじめ、多くの先生方の「あり方」が決して無関係ではないと思います。

閑話休題、砂川先生は野球部の顧問をされておられ、指導される生徒たちもみな野球部というクラスでした。ピア・ラーニング、L I T E (Learning In TEaching)をふんだんに取り入れておられましたが、生徒たちが自然と能動的に動いている様子を見え、普段の授業からアクティブな取り組みを行っておられることが伝わってきました。

「野球に専念する生徒達ですので、前日の疲れを引きずっていたり、朝練で疲れていたりで、集中力の持続がすごく難しく感じています」

というお話通り、授業開始25分ごろからクロストークが始まったり、発問で個人とのやり取りが続くと集中が途切れる生徒もちらほら…。

「こういった生徒たちに対しては厳しく指導を加えねばならぬ!」

という先生もおられるかもしれませんが、質問を全体化したり、演習問題を解き終えた生徒を『先生の補佐役』として、まだ解けていない生徒へサポートする機会を創ったりと絶妙なバランスで授業は進行していきました。

砂川先生の授業から感じたのは、『承認』そして『信頼』の姿勢。

分かったところまでいいよ!

分からなかったら
質問しまくっていいからな〜



こんな言葉に生徒たちは、『安心・安全』を感じ、各々が自分の成長のための時間としていました。そして、野球部だけの生徒という少し通常とは違うクラスですが、砂川先生の授業は、野球部員同士のチームビルディングにも効果を発揮すると感じました。

古典における取り組み

2時限目は古典の佐藤先生。まず最初からグループ形態の座席配置。授業は、落語を一席見て、そのオチを考えるとというものを3回転。それも、初級編、中級編、上級編と分かれており、生徒の心構えや取り組み具合にも配慮と工夫がなされていました。

「結構学力的には高いクラスで、一見すると何も問題はないんです。ただ、言われたことを言われた通りに導き出すことには長けた生徒たちですが、答えがない問いに取り組むという経験がそもそも少なく、すぐに正解を欲しがってしまう、これでは本当の意味で入試はじめるいろいろな課題に直面した時には太刀打ちができない。それを今回は公開授業をいっきかけと捉えて、思い切って舵を切ってみました」

こういった背景から鑑みるに、通常の授業とは違う舵切りに生徒はさぞ戸惑うことであろう、と予想していたのですが、この予想は見事に裏切られました。生徒達もグループでの対話を楽しみ、そしてそのグループとの対話を佐藤先生が楽しむといった場ができていました。授業の主役は生徒、そしてグループワーク中における佐藤先生の興味関心は各グループに向けられている、いわば佐藤先生も生徒も自由な雰囲気です。授業が進行していましたが、それは、佐藤先生の存在そのものが、『安心・安全』の象徴であったことが最大の理由ですが、前述した佐藤先生の生徒への想いを授業の冒頭において、しっかりと語られ、この授業の目的を明確化されたことも功を奏していると感じました。

英語における取り組み

3時限目はお休みを頂きまして、4時限目は英語の畑地先生。見せていただいたクラスは、学力的に課題感のあるクラスとのこと。

「英語そのものに抵抗感を持って入学してくる生徒がこ

のクラスのほぼ全員です。そういった生徒たちに少しでも成功体験からくる自信を身につけてほしいんです」

全体発問を多用しながら授業を進行し、即座に答えが出ない場合は個別発問への切り替え、そして『承認』の言葉がけ。L I T Eの手法を用いての自由作文を通して、授業の単元こそ“受け身＝受動態”でしたが、生徒たちの“主体性”を引き出されている授業でした。また、授業＝拡散、リフレクション＝収束、といった役割が明確であったことも印象に残っています。

午前終了

実際に見学させていただいた授業を、◎良い点、?疑問点、▲より以上を目指すために、★こんな方法もある、の観点から、翌日のフィードバック会にてお伝えをしました。公開授業へ向けてということもありますが、それ以上に学びを続ける先生方へのさらなる進化・発展を願うので。その時のお話と、午後に見学させていただいた授業の紹介は次号でご紹介いたしますが、この日の午前に見学させていただいた先生方に共通していたことは、生徒への『信頼』からくる『安心・安全な場創り』を創出され、自然と『承認』の言葉をかけられていました。

「教育コーチングに触れて、生徒への『認知』も変わりましたし、授業に対する『認知』も変わりました。何よりそれが、教師という職業に対する『認知』を変えてくれました」まさに“壇上の賢者”であった教師が、壇上を降り、そして“寄り添う支援者”となったわけですね。

教育コーチングはコミュニケーションスキルの一つです。そして、それをどう使うかは、先生お一人お一人の『認知』が深くかかわっています。ここにメスを入れない限り、本質的なトランスフォーメーション(質的転換)は実現しません。

奥が深い教育コーチング。ぜひ、教職員一丸となって、新たなコミュニケーションの一步を踏み出しましょう。



お問合せは
コチラから!



編集主幹が行く

ダーツの旅

Leave the destination to darts

第72回

本誌バックナンバーは
コチラから!本紙編集主幹
ちば せいいち
千葉 誠一

本紙編集主幹の千葉誠一が
地域ごとの私塾事情を探るため、
ダーツが刺さった地域へ赴きます。
各地域で活躍を続ける塾や、
珍しい取り組みを行っている塾に
取材を敢行！
ローカルな運営法の中に、
塾で生かせるヒントがある！？

今回は
東京都
豊島区名門会
(リソー教育グループ)名門会 家庭教師
センター

吉田信司(よしだ・しんじ)社長

リソー教育グループの家庭教師部門を担う名門会。スタートは個別指導を展開するリソー教育の一事業部であった。2003年に株式会社として独立してからは、1都3県展開の本体に対して、それ以外の全国と世界へと展開を進めている。

コロナ禍を経てさらに進化している同社の現状の課題と今後の方向性について、学習院大学に隣接する目白の名門会本部で吉田信司社長に取材した。



吉田信司社長

スタートは一事業部、
現在は全国に展開

千葉:創立と企業概要について教えてください。

吉田:家庭教師派遣の名門会は元々リソー教育グループ本体の一事業部としてスタートしました。リソー教育が1985年創業で、名門会事業部は1989年に生まれたのです。そして、2003年に株式会社名門会として独立し、首都圏中心に家庭教師派遣の事業を拡大してきました。当初から「プロ講師100%」を謳っています。現在は、全国に約50の拠点があります。午前中から浪人生等が授業や自習で来校するため、事務スタッフまたは社員がシフトを組んで午前中の対応をしますが、社員の基本的な勤務時間は14時半から22時半です。

「安売り競争」には
参加しない理由とは?

千葉:名門会の現状と今後の課題について教えてください。
吉田:生徒を指導する先生(プロ講師)の確保が最優先であり、それにより今後の発展も左右されていると思っています。ただこの数年で教育の環境が大きく変化しています。中学受験は少子化でも受験率が上がっており、当面はニーズがありますが、大学受験では浪人してでも第一志

望校に合格しようとする生徒は減っています。国や地方公共団体がいろいろな施策を講じて、少子化の流れを変えるのは難しそうです。しかし、当グループ創業者の岩佐の信念であり、ずっと言い続けているように、生徒確保のために安売り競争には参加しません。あくまでも本当に生徒の質になる指導サービスを続けていきます。高額でも本当に良いものを社会に提供しようという創業の理念を貫き通すつもりです。

首都圏から全国、そして世界へと事業が拡大してきましたが、これはオンラインの仕組みがあればこそです。お子さんと共にご家族で海外に勤務するご家庭を対象に、名門会のオンライン家庭教師の受講者が海外在住の日本人の間で少しずつ増えています。また、名門会の医学部合格実績も昨年の210名から今年は240名と増えています。この背景には、長年にわたり多くの生徒を夢の志望校合格に導いてきた経験と実績が豊富なプロ講師と教務正社員の「個別最適化」へのいわば暗黙知と、対面指導の質をそのままに提供できるオンライン授業の独自開発システムがあります。

千葉:プロ講師の特色について教えてください。

吉田:指導教科の実力はもちろんですが、生徒の学力や性格などからその生徒に最適な志望校合格への戦略と計画が立てられること。そして、その計画どおりに生徒を歩ませていく人間力があることですね。

名門会の指導システムは最強

千葉:リソー教育グループですが、グループ内での位置付けと役割について教えてください。

吉田:親会社であるリソー教育が運営するトーマスと名門会は、個別指導でかつ進学塾という点では共通ですが、トーマスが学生講師中心で1都3県の展開であるのに対して、名門会は全国(全世界)が対象であること、また家庭教師は100%プロであることが相違点です。プロ講師による完全1対1の指導に加え、授業以外の全般にわたり生徒の志望校合格をサポートしていく教務正社員の存在。しかも世間から見れば「奇跡」と言われるような合格を毎年多数実現している経験とノウハウが名門会にはあります。確かに月謝は高額になりますが、名門会のシステムは、受験指導において最強であると自負しています。

千葉:システムや情報の共有、人材の交流などはあるの

でしょうか?

吉田:もちろんグループ会社間の知恵の共有や人材の交流もあります。それに加え今後は、ベテラン講師がこれまでに培ったノウハウ(暗黙知)を、膨大な指導データを基にAIで形式知化していく可能性はあります。AIについては、ティーチングの部分で人間の代わりができるかもしれませんが、生徒に寄り添い計画を立てて実行するコーチング的な部分は人間のほうが当分は優位だと思っています。ベテラン講師というのはこの両方ができるからカリスマ的になれるのですが…コロナ禍でデジタル化が更に進んだと言われていますが、これが行き過ぎると、その反動で、学習においてもアナログが人気になる時代に戻るかもしれません。

医学部受験専門
「MEDIC名門会」とは?

千葉:この数年、コロナ禍でさまざまな対策と変更が行われたと思いますが、その中で何かプラスになっていることはありますか?

吉田:すでに触れた内容もありますが、やはりデジタル化が進んだと思います。当社では2020年11月にオンライン授業を本格化させました。それとコロナ禍で医療従事者の確保が各地で大変でしたが、これを増やしたいという思いが強くなり、医学部受験専門のMEDIC名門会を設けて、2022年に大阪と神戸でスタートしました。

千葉:リソー教育グループには医学部予備校のメディックTOMASがありましたね? どちらとの棲み分けは?

吉田:メディックTOMASは、前述したように、1都3県の展開となっており、MEDIC名門会とのバッティングはしていません。名門会は元々医学部受験にも強かったので、それをさらに強化するため、授業を担当するのはプロ講師ですが、現役の医学生生の質問対応や進路アドバイスも受けられるようにしています。MEDIC名門会は、名門会中の名門会と言えるような理想のシステムにしました。

対面とオンラインの
両輪で進化したい

千葉:現在注力している事業内容や拠点展開について教えてください。

吉田:対面指導もオンライン指導も増やしたいですね。名

門会の質そのものの向上のため、プロ講師の確保と同時に教務正社員との情報共有、そして科目別講師であっても合格へのアドバイスができるような体制へと進化したと思っています。そのために研修・勉強会や講師・社員とのコミュニケーションの機会を増やしています。また、近年は理系も含め国語力の重要性が増していることと、名門会の理念である「受験後も見据えた生徒の幸せ」ということを真剣に考えたとき、国語力(理解力、伝達能力など)は、社会に出た後も非常に大切な基礎力ですから、我々日本人の表現手段である国語にも力を入れています。

教育は世界を幸福にできる
素晴らしい仕事

千葉:名門会としての中長期的な目標と人材採用・育成について教えてください。

吉田:リソー教育グループ全体として、子どもたちの未来のための教育を目指していますが、名門会もそれを踏まえつつ、より多くの生徒が幸せな人生を送り、世の中を少しでもよくする教育を目指しています。そのためにも生徒数を増やしたいです。社会の中で生徒一人が100人を幸福にすれば、生徒100人で年間1万人が幸福になり、その人たちがそれぞれ100人を幸福にすれば、100万人が幸福に…それを続けていけば世界全体の人たちが幸福になっていくのだと思っています。つまり教育が世の中を幸福にする素晴らしい仕事なのだと本気で考えて取り組んでいるのです。

奇跡の合格とは?

千葉:具体的な目標について教えてください。

吉田:5年後に生徒数倍増を目指しています。生徒の受験指導を通じて、未来を明るくするためには、できるだけ多くの生徒と縁を持つことが大事になります。オンラインが起爆剤になる予感があります。

名門会では、世間からは「奇跡」と言われるような合格を毎年多くの生徒が勝ち取っています。自己肯定感を失いかけた生徒が名門会との出会いで、自信を取り戻し、未来を変えるということが普通に起きるのが名門会です。現在の日本では、本人の努力次第で人生を激変できる可能性があると私たちは信じています。先述した名門会のシステム、すなわち、プロ講師+プロ教務社員+合格実績。

この最強のシステムでこれからも多くの生徒の自己実現に向けて全力で支援していきます。

社長が一年間休んでも
安泰な企業にしたい

千葉:吉田社長の夢や趣味について教えてください。

吉田:日本全国や世界を旅してみたいですね。少なくとも一カ月。もっと言えば、一年間私が旅行していても安泰な企業作りができればと思っています。また、お金のための仕事ではなく、生徒たちが受験して合格するだけでなく、思いやりや感謝の心を持ち社会に貢献してくれる人間作りができれば、まさに当社の理念の具現化だと思います。利他の精神で生徒に接し、生徒の心に自然と利他心が芽生えるような指導環境を維持していきたいですね。

(2024年5月14日、東京都目白の名門会本部にて取材)



事務受付



遠隔ブース



個別ブース



自習室

リソー教育グループ概要

■株式会社 名門会

所在地: 東京都豊島区目白一丁目4番25号

代表: 代表取締役社長 吉田 信司

事業内容: ・社会人プロ家庭教師センター「名門会」の運営
・全国展開の進学個別指導塾「TOMEIKAI」の運営
・対面授業同様の双方向オンライン授業「名門会ONLINE」の運営
・医学部受験専門個別指導塾「MEDIC名門会」の運営



名門会のHLPはこちらから

■株式会社 リソー教育

所在地: 東京都豊島区目白三丁目1番40号

代表: 代表取締役社長 天坊 真彦

事業内容: 「TOMAS」をはじめとする進学個別指導塾のほか、6つのグループ会社を通じ、家庭教師派遣、幼児教育、学校法人向けの学習システムおよび教育プログラムの導入支援、教育旅行事業などを展開。



リソー教育のHLPはこちらから



私塾リアル

Vol.68

いろんな塾の
いろんなイマが
見えてくる

本紙編集主幹
千葉 誠一

沖縄から全国へ ロボットで教育改革を!!

沖縄は全国で最も生徒数に対する特別支援
学級が多い県だ。そこでロボットによる教育
支援ビジネスをスタートさせたのが、株式会
社TAGラボだ。この会社は大阪が起源の印
刷会社から分離される形で設立された。社
長の速水雅史氏は、大卒後、コンサルティ
ング会社を経て東京速水印刷の社長となっ
たが、前職の影響により、社会貢献できる教育
サービスのビジネスのチャンスを狙ってい
た。それが昨年沖縄にできたTAGラボなの
である。速水社長にTAGラボが目指す「教
育改革」について聞いた。

本誌バックナンバーは
こちらから!



◀TAGラボHPはこちらから!

株式会社TAGラボ

沖縄県那覇市
事業内容: ユニボ先生の教育支援事業



代表取締役社長
速水雅史
(はやみ・まさし)氏

沖縄でやれたら 全国展開できる理由とは?

千葉: 御社の母体である東京速水印刷では、以前一度お
会いしています。本体の事業は印刷関係ですが、昨年沖
縄に新会社を設立されました。その事業内容について教
えてください。

速水: 教育現場で課題が多いことを知り沖縄からスタート
しました。沖縄でやれたら全国どこでもやれると思っ
ています。沖縄には特別支援学級が多く、通常入らな
く、よいレベルの生徒も入って年々増えているのが現状
です。しかも、非正規雇用のいわゆる臨時教員であって
もクラス担任を任されたりしています。つまり、仕事の範
囲が広くそれだけ大変なのです。これをユニボ先生の活
用で緩和して改善していきたいということになります。
沖縄の大半の家庭は両親が共働きですが所得がそれほ
ど高くなく、昼間だけでなく夜間も仕事に就いていたり
します。教員の休職も多く、文科省の指導で1クラスの
生徒数を増やすことにも反対意見が多いのです。これら
をユニボ先生でサポートしたいのです。

おかげさまで生徒や教員の反応は良いです。他の使い
方も色々ありますが、まずは沖縄の教育現場を変えてい
くのが最優先課題です。

千葉: 印刷関係の現状とデジタル関連事業の今後につ
いて教えてください。

速水: 印刷業界ではすぐに紙がなくなることはありません

が、将来を見据えて、株式会社TAGラボで色々と新商品
の開発や実証実験をしていければ、沖縄から全国にマー
ケットが広がる可能性もあると考えています。

東京速水印刷の誕生は 1回目の東京五輪がきっかけ

千葉: 速水印刷の歴史はかなり古いのですね。また、速
水社長は以前、東京芸術大学とも仕事上の付き合いがあ
ったそうですが。

速水: はい、1946年に創業した会社が元々大阪にあり、
弟が継いでいますが、最初の東京オリンピックが開かれ
る1964年に合わせて、1960年に東京に会社の営業所
を出しました。その後1973年に独立して、現在の東京
速水印刷となりました。私は兵庫県出身で高校が関西で
大学は東京でした。大学で経営工学を学び、卒業後、コ
ンサルティング会社に勤めて様々な仕事をする中で東京
芸術大学との縁ができ、学生や若手アーティストの将
来のキャリアプラン作りの相談にも乗りました。また、
コーポレートベンチャーキャピタルに出向した際、同社
の投資先のひとつがユニロボット社だったのです。ロ
ボットの教育現場での活用に興味を持ち、ソリューショ
ンゲートの鈴木社長やその系列のエデュゲートの小林
氏などともつながりました。

沖縄で教育に特化した 「マルチメディア教育実践研究大会」参加

千葉: これからの夢や目標について教えてください。

速水: まだ手掛けて1~2年ですが、本気で取り組むため
に沖縄で起業しました。そこから全国に広めていきたく
と考えています。ユニロボット社だけでなく、株式会社ア
パロンテクノロジーズも協力会社となりましたので、教
育は子どもたちの未来への投資であるということを原則
として、新しい教育システムを開発し、それが新しい教
育サービスを生み出し、さらには新しいビジネスとして
全国に広がっていけばよいと思っています。それにより
次世代の人材が育ち、それが教育の充実や社会貢献

につながるべ嬉しいです。

また、今後大手塾をはじめとした大手の企業と一緒に
ビジネスを手がけることで想定した以上の成果が得ら
れたら嬉しいです。

2023年と2024年の1月に沖縄で教育に特化した
「マルチメディア教育実践研究大会」が開かれ、当社も協
賛しました。展示されたユニボ先生に多くの反応があり、
算数や理科などの学習に役立つだけでなく、子ども
たちに寄り添って教育を底上げするロボットとして認め
られつつあります。ミスしても無視したり咎めたりしませ
んし、人間だと話さずらいこともロボットはちゃんと受け
止めてくれます。万能ではありませんが、今後改善してい
けば、確実に子どもたちの役に立つ教育ツールになると確
信しています。

(2024年5月22日、
東京都中野区の東京速水印刷本社にて取材)



● ユニボ先生による学びのイメージ

中土井鉄信の
新口
トーク!

連載
コラム

なかどい

中土井 鉄信

合資会社マネジメント・ブレイン・
アソシエイツ代表
2001年、自らの理想を実現するため教育機
関専門のコンサルタント会社として合資会社
マネジメント・ブレイン・アソシエイツを設立。
アドラー心理学・教育学・発達心理学等の研究
から「セルフ・エスティーム(自己重要感・自己
有能感)」を高めることが教育の使命だと確信
し、この考えを基に学習塾や学校のコンサル
ティングを行い、成果を上げて続けている。

教育 ビジネス 最前線

鈴木 博文

有限会社ソリューションゲート 代表
1957年生まれ、北海道出身。
教育コンテンツクリエイター。
ロボット先生実現に向けて取り組み中。
趣味は自転車やギター等多彩。



社会的視点で、 教育改革を考えてほしい!

最近、公立学校の教師をしている友人たちと情報交換をした
が、日本の教育力はどんどん落ちているように感じると口を揃え
て言っていた。特に小学校が酷くなっているのではないかと中学
校と高校で教師をしている友人たちが言っていたが、小学校や中
学校でしっかりとした行動規範を教え、社会の構成メンバーに
なってもらうことが学校教育の仕事だから、とても心配だ。

義務教育は日本の社会を形作る一番効果的な政策だ。しかし、
義務教育も人間の営みだから、その文化的歴史的状況の変化で
内容的に影響は受けるものだが、今までは社会的インフラとし
て、その機能を十分果たしてきた。それが昨今の教育改革で、どう
もおかしくなっているように感じる。ICT教育、個別最適化という
名のもとに、どんどん変な状況になっているように感じる。

義務教育も大きく劣化した時期がある。それは昭和の戦争前や
戦争中、戦後間もない時期だ。戦争等で社会的インフラとしての
教育が機能不全に陥っていた。特に終戦直後は、社会における共
通の価値観が揺らぐために社会が乱れた。そして、犯罪は日常的
に数多く発生した。戦後の混乱期、日本は相当無秩序状態だった。

しかし日本は、戦後、いち早く混乱期を抜け、急速に経済成長を
遂げた。その一翼を担っていたのは、文化的歴史的な社会風土であ
る集団主義的精神とその精神に基づく活動だ。

また、学校教育を支える教授方法も実にうまく機能した。日本の
教育は、俗に画一的な教授方法と言われるが、非常に優れていた
のだ。それは、日本という文化的歴史的背景とちやうど合致したも
ので、日本の社会における集団志向性と合っていたのだ。

そして、もう一つ重要な点は、学校教育が集団生活を教えた点
だ。日本の学校教育は、この点でも優れていた。社会の構成メン
バーとして、児童・生徒をブレることなく、しっかり指導したのだ。
欧米諸国から比べれば、多少窮屈に感じるところもあったと思う
が、社会階層で縛っている欧米諸国の見えない圧力による生き難
さと比べものにならないほど、小さな息苦しさではないかと思
う。しかし、私たちの世論は、日本教育は、息苦しい、閉塞感がある
ものだとして、重要な部分を捨て去ろうと教育改革を推し進めよ
うとしている。ちょっと待ってほしい。社会的視点から義務教育を
見てほしいのだ。

例えば、それは、先進国の犯罪の発生率だ。よく言われることだ
が、日本は治安のよい国だ。先進国の中で大都市を夜一人でも歩
ける唯一の国と言って良い。他の先進国では、そのようなことは
望むべくもない。それはなぜなのか。その国の文化的歴史的要因
にもよるのだろうが、基本的には義務教育における力が影響して
いるからだ。この点をしっかり認識して、改革の舵を取ってほし
い。このまま教育改革が進めば、学力分断が進み、日本は他の先
進国と同様な犯罪率になっていくだろう。日本の義務教育が社会
のインフラ形成に非常に貢献している証左として、犯罪発生率の
低さを挙げておく。ぜひ、社会的視点に立って教育改革をしてほ
しい。

難しい幼児向けの コンテンツ

都内のある幼稚園で、ユニボ先生の体験会を行った。今年
度中にユニボ先生を使ったコースをスタートさせるための
準備だ。この幼稚園にはこれまでも何回かユニボ先生を持ち
込んだことがある。そのたびに、「人の先生無しで、ユニボ先
生だけで学習を進める」ことの難しさを感じている。主な理
由は、次の4つ。

- ①学習に必要な前提知識の差が大きい。
- ②学習を進めるルールを理解できない。
あるいは従おうとしない。
- ③周囲に気が散ることがあると、学習に集中できない。
- ④早生まれと遅生まれの差を無視できない。

これらは、発達状態が急激に変化する年少から年長の子
どもにとっては当たり前といえは当たり前かもしれない。①は
④と関係がある。同じ年少でも、3歳に近いタイミングで入園
するのか、4歳に近いタイミングで入園するのかの差は大き
い。②は、学習の展開において手順が多すぎると、その手順
が理解できなかったり、飽きてしまったりする。3歳くらい
まではイヤイヤ期があるので、「正解のカードをとって僕に見
せて」と言っても、従わない。③は周囲の子どもが走り回っ
たり、笑い声が聞こえたりするとそちらに気を取られてしま
う。コンテンツを提供する側としては、子どもが集中できるくら

い興味を持ってくれるコンテンツにすることは目指さなけれ
ばならないのは当然ではあるが、悩ましい問題である。

何回か体験会を続ける中で、こうすればいいだろうという
方法も少しずつ見えてきた。その1つは、その日の学習テー
マは楽しく短い動画で見せて、理解度を確認したり定着させ
る部分ではゲーム性を持たせるという方法だ。

こういう取り組みをする一方で、幼児期に身につけたいこ
とは、無理に学習させなくても適切なタイミングで習得でき
ることが多いので、あえてロボット先生を使って学習させる
ことにどんな意味があるのかと思うことがある。心配してい
るのは、就学前の知識やできることの差が、小学校に入學し
た時のスタートラインの位置の差となって現れることだ。そ
のことが学習に対する不要な苦手意識につながってしまう
のであれば、かわいそうなことだと思う。手段ありきというの
はいただけないので、方法は何でもいいのだが、小学校に入
学した時のスタート位置を一緒にしてあげること考えたい
きたい。そこにロボットが役立つのであれば嬉しい。

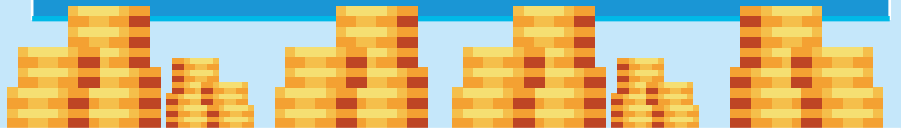


先生が授業で使える



2分の準備で始める 金融教育への道

SMBCグループ×ゲーミフィケーション



第一章 導入までの道

環境が整っていれば今すぐ導入が可能！
約2分のダウンロードで「教材」の準備はOKです！

生徒が利用できる端末で、
Minecraft Education
が導入可能

→ はい
→ いいえ

「Microsoft 365」を
導入している

→ はい
→ いいえ

導入内容は
A3かA5である

→ はい
→ いいえ

※Microsoftのアカウント内の製品情報をご確認ください。

Minecraft Educationのライセンスの導入

「クエスト・オブ・ファイナンス」
をダウンロードする

ダウンロードはこちら



第二章 導入で得られるメリット

1コマの授業(50分)で身につける
お金の知識+αの多彩な能力

小学生から
高校生まで

メリットその1

1コマで体験から
振り返りまで

核となるゲームの部分に30分という制限時間を設けることで、冒頭の説明とゲーム後の振り返りを合わせても1コマ(50分)に収まる構成を実現。授業コマ数の確保や導入の手間に時間を取られることはありません。

メリットその2

失敗から学ぶ。
だから身につく

ゲームのミッションは、簡単にはクリアできないため、工夫が必要。子どもたちは成功よりも失敗から多くのことを学びます。ゲームだからこそ、いくらでも失敗することができるのです。

メリットその3

自発的な学びへの
きっかけ作り

「お金について楽しみながら学べること」を目指した「クエスト・オブ・ファイナンス」は、ゲーム好きな子どもたちの好奇心を刺激し、自発的に学ぶことで、金融リテラシーの向上に寄与します。

メリットその4

総合的な能力を養う
多彩な学びの仕掛け

ゲームを通じてお金の知識を得るだけでなく、新聞を読んで理解する読解力、ゲームを進める際の判断力、戦略を立てるための計画性や論理的思考など、総合的な能力開発につながる仕掛けが満載です。

MinecraftはMicrosoft社の商標です。また、本データはMicrosoft社及びMinecraft開発社のMojang Studiosの承認を得ているものではなく、公式として提供するものではありません。

教材の詳細は特集P07をご覧ください！

ご不明点や
教材に関する
お問い合わせは
こちらまで！

SMBCコンシューマーファイナンスお客様サービスプラザ 所在地・連絡先

札幌	札幌市中央区南3条西3丁目10-4 三信ビル3F	tel.011-796-6324
仙台	仙台市青葉区中央3-6-7 SSスチール仙台駅前ビル1・2F	tel.022-268-6441
東京	東京都江東区豊洲2丁目2番31号	tel.03-6877-4856
金沢	石川県金沢市堀川町4-1 セントラルビル7F	tel.076-200-8113
名古屋	愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-19 2F	tel.052-856-2635

大阪	大阪市北区南森町2丁目1-29 南森町ビル2F	tel.06-7669-8762
広島	広島市中区立町1番地1 エルビル1~5F	tel.082-244-6025
松山	愛媛県松山市三番町3丁目8-4 松山日興ビル4F	tel.089-900-2270
福岡	福岡市博多区博多駅前1-2-1 博多駅前ビル2F	tel.092-686-9991
鹿児島	鹿児島県鹿児島市東千石町13-19 天文館第2ビル3F	tel.099-803-0889
那覇	沖縄県那覇市金城5-2-4 メゾンシャルマンビル1F	tel.098-880-2867

2024年6月時点